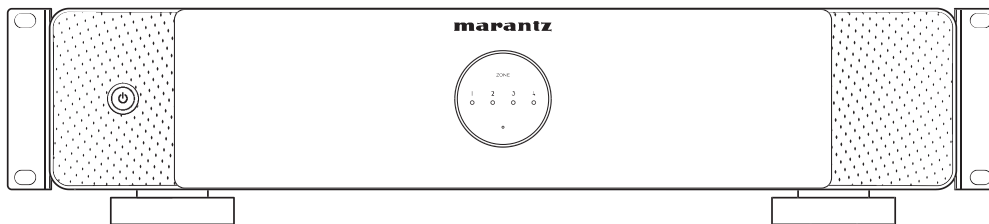


marantz



MODEL M4 | Multi-room Amplifier

取扱説明書

付属品	4
各部の名前	5
前面	5
背面	6
設置する	7
ラックに取り付ける	7
接続のしかた	9
スピーカーを接続する(4ゾーンステレオ)	10
アンプや AV レシーバーを接続する	13
サブウーハーを接続する	14
USB 端子に USB メモリーを接続する	15
トリガーコントロール	16
外部機器を接続する	17
ネットワークに接続する	18
プリアンプを接続する(パワーアンプモード)	19
パワーアンプモードに切り替える	20
電源に接続する	21
HEOS アプリをダウンロードする	22
セットアップ	
HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する	23
有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する	23
無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する	24
HEOS アカウントについて	25

再生のしかた

ストリーミング音楽サービスを再生する	26
再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ	26
音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ	27
同じ音楽を複数の部屋で聴く	28
部屋をグループ化する	28
部屋のグループ化を解除する	29
すべての部屋をグループ化する	30
すべての部屋のグループ化を解除する	31
インターネットラジオを聴く	32
モバイル機器の音楽を再生する	32
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	32
外部オーディオ機器の音楽を再生する	33
USB メモリーを再生する	33
AirPlay 機能	34
iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する	35
Windows パソコンの曲を本機で再生する	35
iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を複数の機器で同期して再生する(AirPlay 2)	36
Spotify Connect 機能	37
Spotify の曲を本機で再生する	37



困ったときは

故障かな?と思ったら	38
電源が切れ、保護回路動作表示が赤色に点滅する	39
音楽が途切れる、または遅れる	39
テレビを LINE IN 入力すると音声が遅れる	40
本機を初期化する	40
本機をお買い上げ時の設定に戻す	40

ステータス表示

ステータス表示 LED について	41
------------------	----

付録

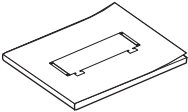
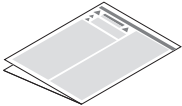
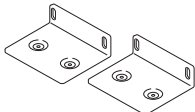







電源管理	45
対応ファイルの種類とコーデック	46
対応する音声フォーマット(Optical)	46
登録商標について	47
主な仕様	48



お買い上げいただきありがとうございます。
 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
 お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

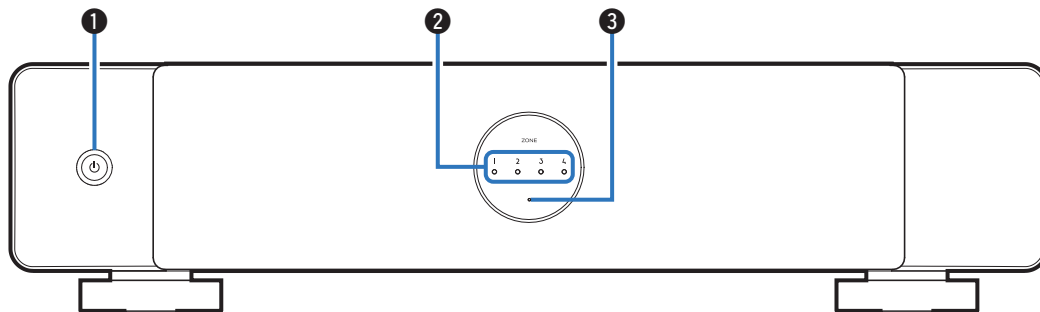
ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたん設定ガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>ラックマウントブラケット</p>	 <p>LANケーブル</p>
 <p>電源コード (北米向け)</p>	 <p>電源コード (ヨーロッパ向け)</p>	 <p>電源コード (イギリス向け)</p>	 <p>電源コード (オーストラリア向け)</p>
 <p>電源コード (日本向け)</p>	 <p>電源コード (中国向け)</p>		



各部の名前

前面



① 電源ボタン(⏻)

電源をオンにしたり、本機をクイックスタートモードやディープスタンバイモードにしたりします。

② ゾーン表示

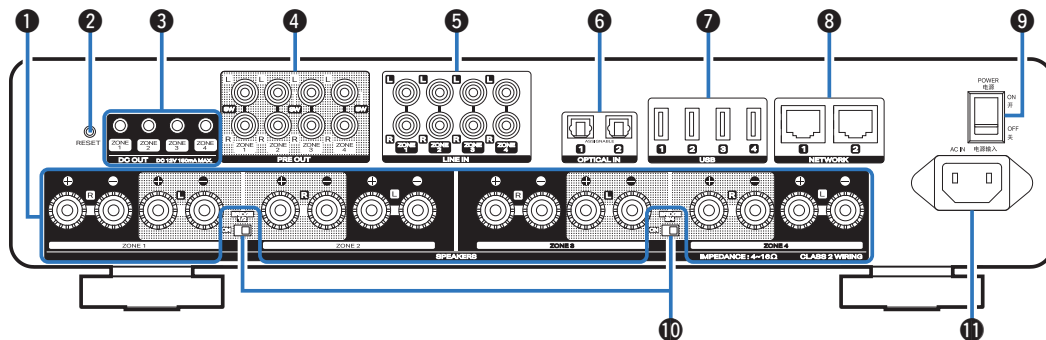
詳しくは、「ステータス表示 LED について」(P.41 ページ)をご覧ください。

③ 保護回路動作表示

保護回路がはたらいっているときに点滅します。(P.39 ページ)



背面



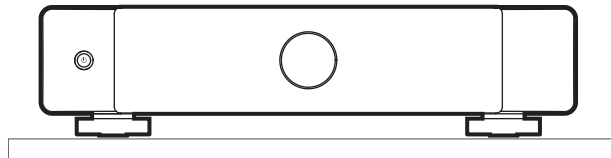
- ① **スピーカー端子(SPEAKERS)**
スピーカーを接続します。(☞ 10 ページ)
- ② **リセットボタン(RESET)**
各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。(☞ 40 ページ)
- ③ **トリガーアウト端子(DC OUT)**
トリガーアウト機能に対応した機器を接続します。(☞ 16 ページ)
- ④ **アナログ音声出力端子(PRE OUT)**
外部のアンプを接続します。(☞ 13 ページ)
- ⑤ **アナログ音声入力端子(LINE IN)**
 - ・アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。(☞ 17 ページ)
 - ・本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(☞ 19 ページ)
- ⑥ **デジタル音声入力端子(OPTICAL IN)**
デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(☞ 17 ページ)
- ⑦ **USB 端子**
USB ストレージを接続します。(USB メモリーなど)(☞ 15 ページ)
- ⑧ **ネットワーク端子(NETWORK)**
有線 LAN でネットワークに接続するときに、LAN ケーブルを接続します。(☞ 23 ページ)
- ⑨ **電源スイッチ(POWER)**
- ⑩ **ブリッジモードスイッチ(BRIDGE)**
ブリッジ設定を有効にします。(☞ 11 ページ)
- ⑪ **AC インレット**
電源コードを接続します。(☞ 21 ページ)



設置する

本機をスピーカーケーブルが届く場所に設置してください。

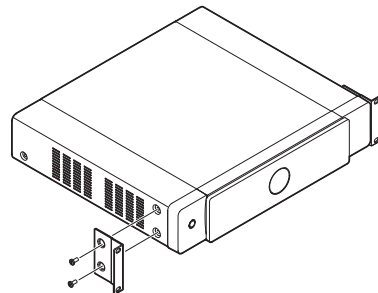
- 本機は防水仕様ではありません。水場の近くに置いたり、雨や雪の降る屋外に放置したりしないでください。



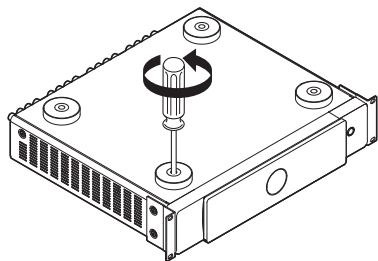
ラックに取り付ける

本機を標準的な EIA 規格のラックに取り付ける場合は、付属のラックマウントブラケットを本機の側面に取り付けてください。

- 1 本機フロントパネル側の側面にある 2 本のネジを外す。
- 2 付属のラックマウントブラケットをネジ穴に合わせ、外したネジを使ってブラケットを取り付ける。



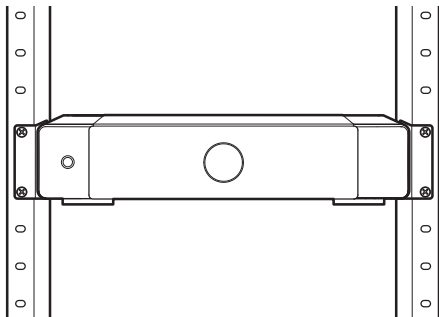
3 市販のドライバーを使用して本機底面のフットを取り外す。



ご注意

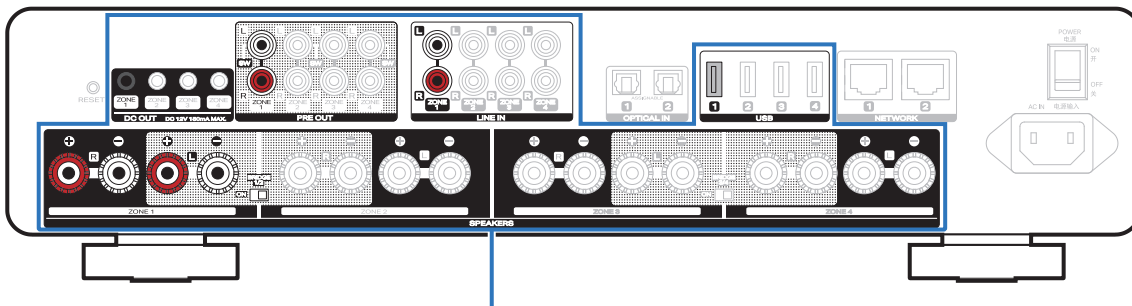
- 本機は側面から放熱しますので、布などで側面を覆わないでください。
- 本機の近くに他の機器を設置する場合、他の機器から発生する熱にご注意ください。必要に応じて、強制換気などをおこなってください。周囲の環境が「主な仕様」(P.48 ページ)に記載された温度範囲であることを確認してください。
- 本機をラックに取り付けない場合、ラックマウントブラケットを取り外してください。

4 ラックマウントブラケットを使用して、本機をラックに取り付ける。



接続のしかた

“接続のしかた”では、ZONE 1 の接続を例に記載していますが、ZONE 2～ZONE 4 も ZONE 1 と同じようにはたります。



ZONE 1 - ZONE 4



スピーカーを接続する(4ゾーンステレオ)

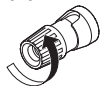
■ スピーカーを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度がし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



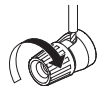
2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

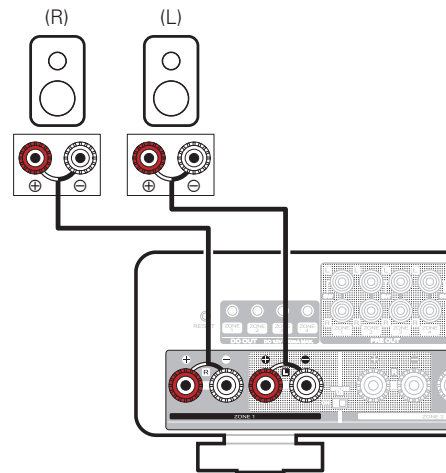


4 スピーカー端子を右に回して締める。





ご注意

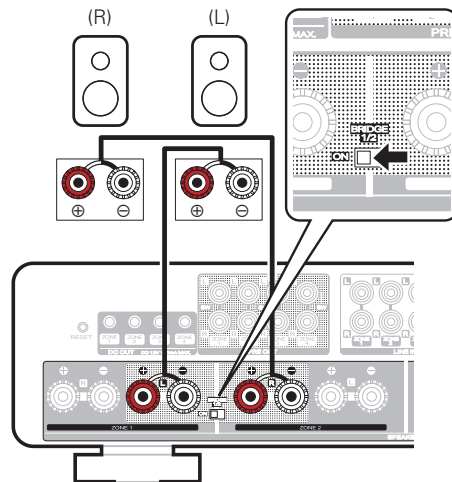
- スピーカーを接続する前にリアパネルの電源スイッチがオフであることを確認してください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやネジに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。
- 電源コードを接続し、リアパネルの電源スイッチを入れた状態でスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが4~16Ωのものを使用してください。それ以外のインピーダンスのスピーカーを使用した場合、保護回路が動作する場合があります。



■ スピーカーを接続する(2ゾーンブリッジ接続)

ブリッジ接続をおこなうと、より大きな出力を得られます。
ZONE1 と ZONE2、ZONE3 と ZONE4 のスピーカー端子を組み合わせることでブリッジ接続することができます。

- 1 リアパネルの電源スイッチを切る。
- 2 左スピーカーを ZONE 1 の L 側スピーカー端子に、
右スピーカーを ZONE 2 の R 側スピーカー端子に接続する。
 -  ZONE 3 の L 側スピーカー端子と ZONE 4 の R 側スピーカー端子を使うこともできます。
- 3 BRIDGE 1/2 スイッチを“ON”に切り替える。
 -  ZONE 3 と ZONE 4 のスピーカー端子でブリッジ接続する場合、BRIDGE 3/4 スイッチを“ON”に切り替えてください。



ご注意

- スピーカーを接続する前にリアパネルの電源スイッチがオフであることを確認してください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやネジに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。
- 電源コードを接続し、リアパネルの電源スイッチを入れた状態でスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。それ以外のインピーダンスのスピーカーを使用した場合、保護回路が動作する場合があります。
- ブリッジモードでは、1 つの ZONE から 1 つのチャンネルが出力されます。この例では、ZONE1 の R チャンネルと ZONE2 の L チャンネルスピーカー端子からは信号が出力されません。
- ブリッジ接続された ZONE 1 と ZONE 2 は ZONE 1 として動作し、ブリッジ接続された ZONE 3 と ZONE 4 は ZONE 3 として動作します。
- 本機をブリッジモードにすると、HEOS アプリの“マイデバイス”設定で ZONE 2 と ZONE 4 が選択できなくなります。

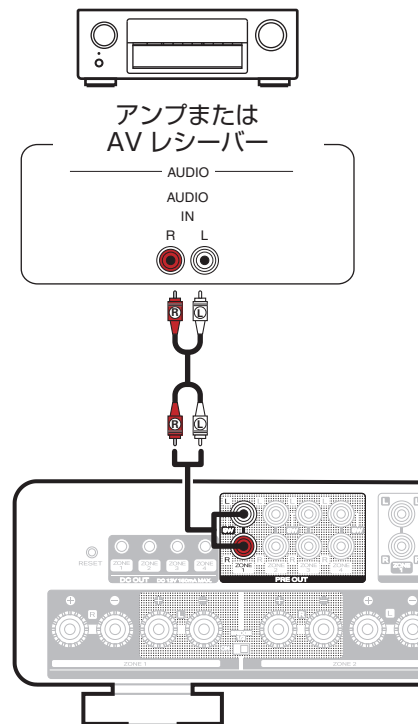


アンプや AV レシーバーを接続する

PRE OUT 端子とアンプまたは AV レシーバーの入力端子を接続します。

ご注意

- 本機の PRE OUT 端子に接続してお使いの場合、HEOS アプリの“マイデバイス”で次の設定をおこなってください。
 - サブアウト(L)を無効に設定する。
 - プリアンプ出力を有効に設定する。

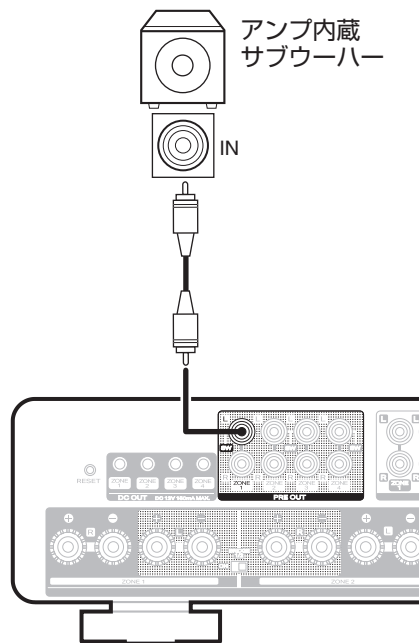


サブウーハーを接続する

PRE OUT “L” 端子とパワーサブウーファーまたはサブウーファーアンプの入力端子を接続します。

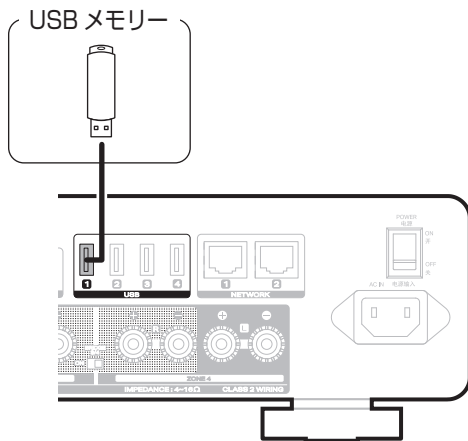
ご注意

- 本機にサブウーファーを接続してお使いの場合、HEOS アプリの“マイデバイス”で次の設定をおこなってください。
 - サブアウト(L)を有効に設定する。
 - プリアンプ出力を無効に設定する。
- HEOS アプリの“マイデバイス”でハイパスフィルターおよびローパスフィルターの設定をおこなえます。



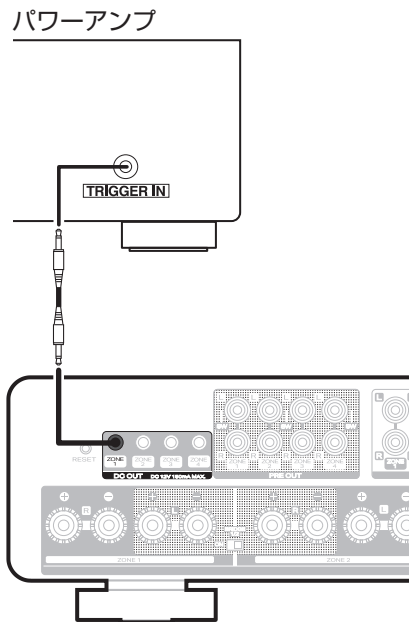
USB 端子に USB メモリーを接続する

FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリーを USB 端子に挿入します。



トリガーコントロール

パワーアンプにトリガー入力端子がある場合、別売りの 3.5mm ケーブルを使用して本機のトリガー出力(DC OUT)端子と接続できます。トリガー出力(DC OUT)端子からは 12V/150mA までの信号を出力します。



ご注意

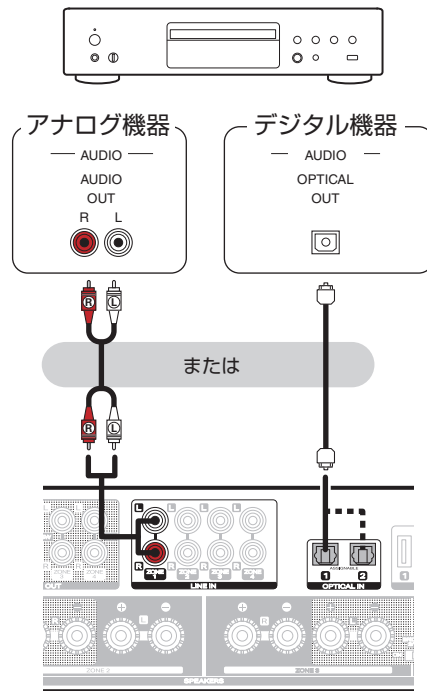
- トリガー出力(DC OUT)端子の接続には、モノラルの 3.5mm ケーブルを使用してください。ステレオミニプラグケーブルは使用しないでください。
- トリガーコントロールを使用するには、HEOS アプリでトリガー設定をおこなってください。



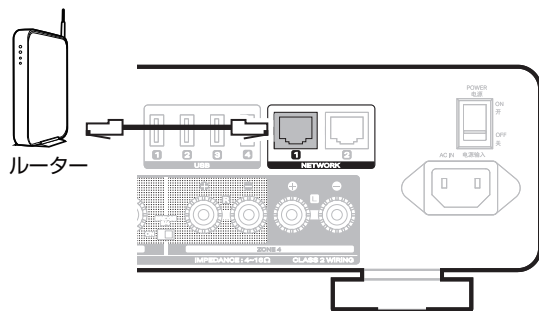
外部機器を接続する

■ 再生機器を接続する

本機の LINE IN 端子や OPTICAL IN 端子にオーディオ再生機器 (CD プレーヤーやポータブルミュージックプレーヤーなど) を適切なケーブルを使って接続します。

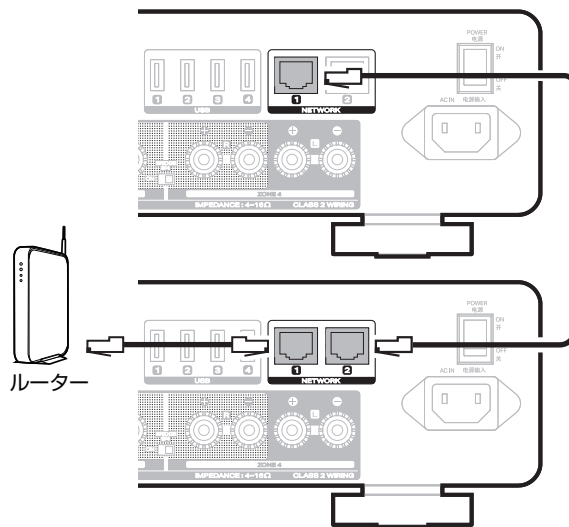


ネットワークに接続する



■ デイジーチェーン接続

ルーターに接続していない、2 目目の NETWORK 端子を別の MODEL M4 の NETWORK 端子とイーサネットケーブルで繋いで、ネットワークに接続することができます。



ご注意

- MODEL M4 には 4 つの HEOS モジュールが内蔵されているため、1 つのネットワークに接続可能な最大 32 台の HEOS 機能搭載機器数に対して、常に 4 台分の機器としてカウントされます。最大 8 台の MODEL M4 を 1 つのネットワークに接続できます。



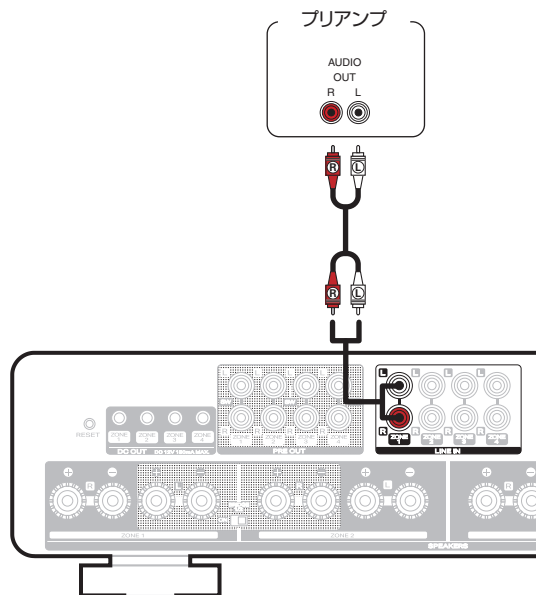
プリアンプを接続する(パワーアンプモード)

プリアンプを接続して、本機をパワーアンプとして使うことができます。

LINE IN 端子とプリアンプの出力端子を接続します。



- パワーアンプモードでは LINE IN の ZONE1 に入力した音声信号は、SPEAKER ZONE 1 からのみ出力します。ZONE2 から ZONE4 についても同様です。
- 本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、パワーアンプモードに切り替えてください。(P.20 ページ)



パワーアンプモードに切り替える

本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、パワーアンプモードに切り替えてください。

1 フロントパネルの電源ボタンを押しながら、リアパネルの電源スイッチ(⏻)を ON にする。

- 保護回路動作表示が 3 回点滅します。



- 全てのゾーンがパワーアンプモードになります。
- パワーアンプモードでは、本機の音量調節はできません。プリアンプで調節してください。
- パワーアンプモードでは、アプリからの操作ができなくなります。
- パワーアンプモードでは、自動でクイックスタートモードに切り替わりません。本体の電源ボタン(45 ページ)を押してください。

■ パワーアンプモードを解除する

1 フロントパネルの電源ボタンを押しながら、リアパネルの電源スイッチ(⏻)を ON にする。

- 保護回路動作表示が 6 回点滅します。



ご注意

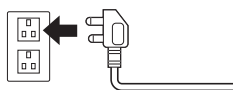
- パワーアンプモードを解除すると、本機の音量レベルは 64(100 ステップ中)に設定されます。再生する前に音量を調節してください。



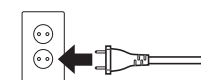
電源に接続する

ご注意

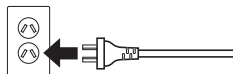
- お住まいの地域に適した電源コードで本機をコンセントに接続し、リアパネルの電源スイッチをオンにします。



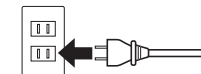
イギリス向け



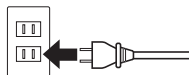
ヨーロッパ向け



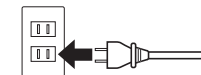
オーストラリア向け



北米向け

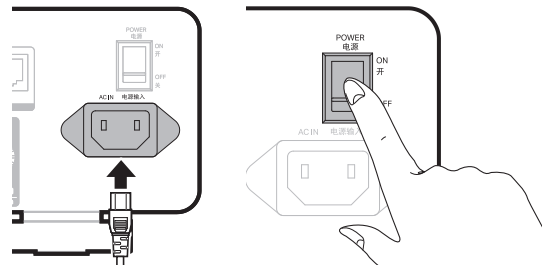


中国向け



日本向け

電源：AC100～240V、50/60Hz



HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App Store®、Google Play™ストアまたは Amazon アプリストアで “HEOS” を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更する場合があります。



HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する

HEOS システムは、複数の HEOS 機能搭載機器間の音楽再生を自動的に同期できます。HEOS システムには、最大 32 台の HEOS 機能搭載機器を追加できます。また、最大 16 台の HEOS 機能搭載機器を 1 つのグループにすることで、1 台の HEOS 機能搭載機器のように機能させられます。

ご注意

- MODEL M4 には 4 つの HEOS モジュールが内蔵されているため、1 つのネットワークに接続可能な最大 32 台の HEOS 機能搭載機器数に対して、常に 4 台分の機器としてカウントされます。最大 8 台の MODEL M4 を 1 つのネットワークに接続できます。

有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

LAN ケーブルを使用して、HEOS 機能搭載機器をホームネットワークに接続すると、HEOS アプリのルーム画面に、接続した HEOS 機能搭載機器が表示されます。

また、HEOS 機能搭載機器に任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置した HEOS 機能搭載機器なのか分かりやすくなります。



- 接続には STP または ScTP LAN ケーブルのみをお使いください。(CAT-5 以上推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- 本機の NETWORK 端子とパソコンの LAN ポート/イーサネット端子を直接 LAN ケーブルで接続しないでください。

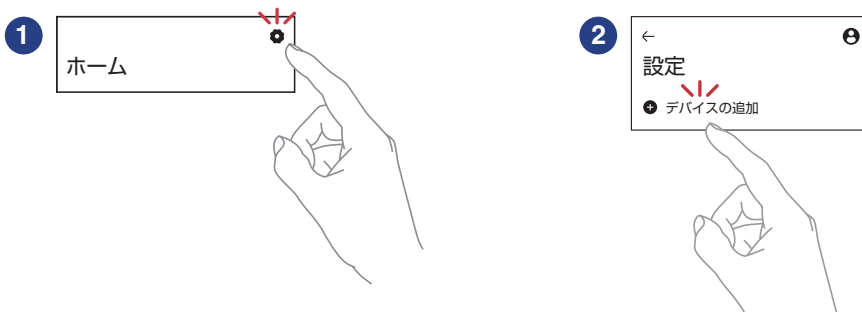
ご注意

- 電気通信端末機器認定品の市販ルーターなどに LAN 接続してください。



無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

HEOS アプリの設定メニューから“HEOS デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



ご注意

- 本機は無線 LAN ネットワークに接続できません。



HEOS アカウントについて

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。



■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聴くときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ホーム”画面からはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 画面右上の設定アイコン  をタップする。
- 3 HEOS アカウントアイコン  をタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをお使いいただけます。

ご注意

- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なり、製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Marantz MODEL M4 Zone 1”を選ぶ。

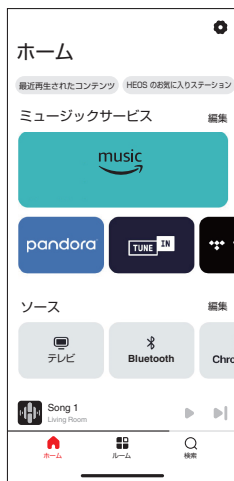


- 右上の“編集”をタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。



音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ホーム”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。

2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。



- “再生中”バナーが“ホーム”画面、“ルーム”画面、“検索”画面に表示されます。どの画面を表示していても再生中の楽曲の確認と簡単な再生操作ができます。

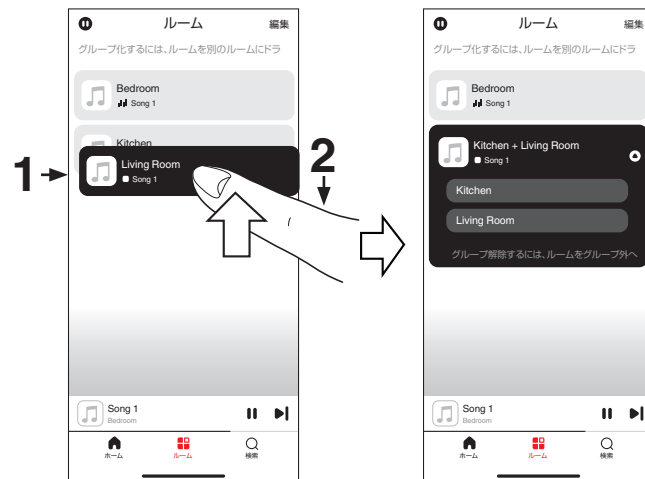


同じ音楽を複数の部屋で聴く

このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままにする)。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
- 3 2つの部屋が1つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽が再生されます。

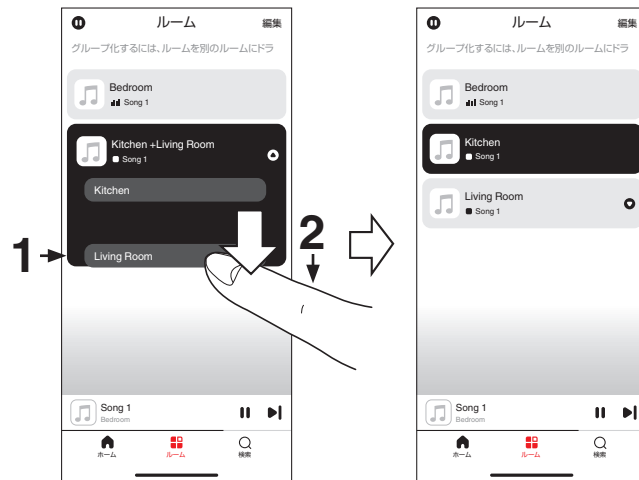


部屋のグループ化を解除する

- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

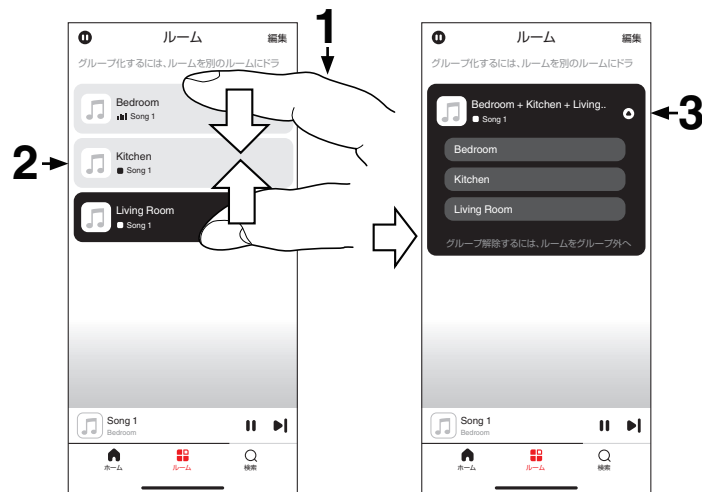
- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除することはできません。



すべての部屋をグループ化する

ピンチジェスチャーを使用して、すべての部屋(最大 16 部屋)をグループ化できます。

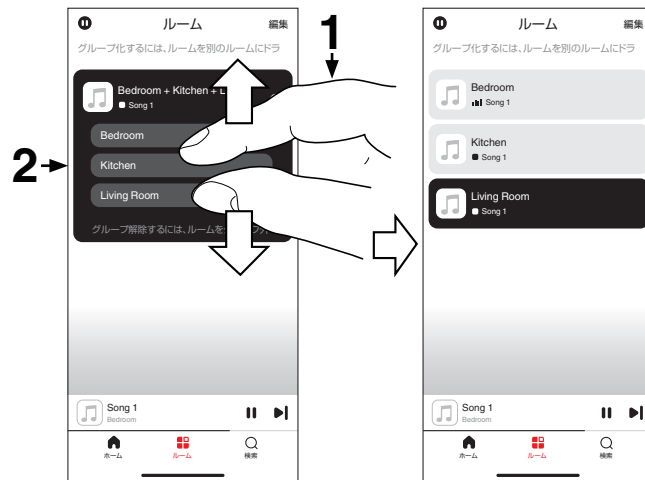
- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。
- 2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
- 3 すべての部屋がグループ化され、同じ音楽がすべての部屋で再生されます。



すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
- 3 すべての部屋のグループ化が解除される。



インターネットラジオを聴く

HEOS システムでは、TuneIn ラジオサービスにアクセスして世界中から 100,000 以上の無料インターネットラジオ放送を視聴できます。TuneIn を“ホーム”画面から選択し、カテゴリー分けされた 100,000 以上の放送局の中からお気に入りの局を選択してください。



- TuneIn アカウントをお持ちの場合は“ホーム”画面の“ミュージックサービス”セクションから“編集”をタップして“TuneIn”を選び、TuneIn サービスにサインインすると、すべての“お気に入り”の TuneIn ステーションにアクセスできます。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

モバイル機器の音楽を再生する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 “ソース”セクションから“この Phone”を選ぶ。
- 3 モバイル機器内の音楽データから再生する音楽を選ぶ。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 “ソース”セクションから“サーバー”を選ぶ。
- 3 ネットワーク内のパソコンまたは NAS サーバーの名前を選ぶ。
- 4 パソコン/NAS 内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。



外部オーディオ機器の音楽を再生する

- 1 光デジタルケーブルまたはオーディオケーブルを使用して、外部オーディオ機器を本機に接続する。
- 2 “ホーム”タブをタップする。
- 3 “ソース”セクションから“外部入力”を選ぶ。
- 4 本機の名前と、手順 1 で接続したオーディオ機器を選ぶ。
- 5 接続したオーディオ機器で音楽を再生する。

USB メモリーを再生する

- 1 FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリーを本機リアパネルの USB 端子に接続する。
- 2 “ホーム”タブをタップする。
- 3 “ソース”セクションから“USB”を選ぶ。
- 4 本機の名前が表示されたら、本機を選ぶ。
- 5 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。

ご注意

- USB メモリーに大量のファイルが保存されている場合は、“USB”リストに本機の名前が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- USB ケーブルを使用して、本機の USB 端子とパソコンを接続して使用することはできません。



AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad、Mac や Windows パソコンに保存されている音楽ファイルをネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって変更になる場合があります。

本機は AirPlay 2®対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイスやスピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。

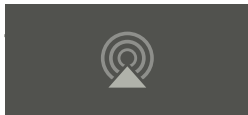


iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac を本機と同じネットワークに Wi-Fi 接続する。
 - 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 Apple Music を開いて iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。
- 3 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

【例】iOS 15 または macOS 13



【例】iOS 10



- 他のアプリの曲を AirPlay でストリーミングすることもできます。コントロールセンターを開き AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選んでください。
- AirPlay を使用するには、iOS 10.0.2 以降または OS X Mountain Lion 10.8 以降が必要です。

Windows パソコンの曲を本機で再生する

- 1 本機と同じネットワークに接続している Windows パソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。
- 2 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

【例】iTunes



- 3 iTunes で曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。



- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。

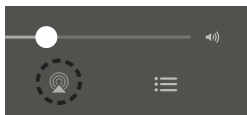


iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生できます。

1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を本機で再生する。

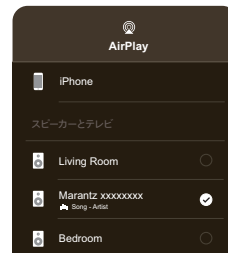
iPhone、iPod touch、iPad または Mac の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

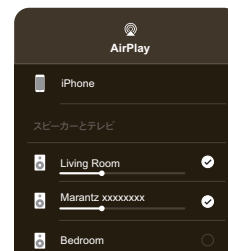
同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されません。



3 再生したい機器/スピーカーを選ぶ。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。



- AirPlay 2 を使用するには、iOS 11.4 以降または macOS Catalina 以降が必要です。



Spotify Connect機能


Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。
詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。

Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。
www.spotify.com/connect/third-party-licenses

Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に“Spotify App”をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify App を起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコンをタップして、本機を選ぶ。
本機で再生をはじめます。



故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



電源が切れ、保護回路動作表示が赤色に点滅する

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で 1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから電源を入れ直してください。
- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.10 ページ)
- 接続しているスピーカーによっては、大音量で音楽を再生すると保護回路が働き、電源が切れることがあります。(保護回路表示が赤色に点滅します)この場合、HEOS アプリの“マイデバイス”で“音量制限”設定をおこなってください。

音楽が途切れる、または遅れる

- インターネット接続が正しく機能しているか確認してください。他のユーザーやデバイスとネットワークを共有している場合、使用帯域幅の空きが少なくなっている場合があります。(特にビデオストリーミング中のとき)



テレビを LINE IN 入力すると音声が遅れる

- テレビなどの映像デバイスの音声出力を LINE IN 端子に入力して、2 台以上の HEOS 機能搭載機器でグループ化すると、画像と音声のずれが発生する場合があります。これはすべての HEOS 機能搭載機器に同時に音声が届くようにするために、HEOS システムでバッファリングするしくみのためです。
- 画像と音声のずれを避けるために、HEOS デバイスはグループ化せずに、1 台のみ接続してください。

本機を初期化する

- 本機をお買い上げ時の設定に戻すとイコライザー設定やネットワーク名などが消去されますが、現状のソフトウェアは保持されます。初期化したあとは“設定”→“デバイスの追加”で本機をホームネットワークに再接続してください。本機を初期化するには、リアパネルの RESET ボタンをゾーン表示が橙色に点滅するまで長押ししてください。

本機をお買い上げ時の設定に戻す

- 本機をお買い上げ時の設定に戻すと、すべての設定が削除され、インストールされていたソフトウェアもお買い上げ時の設定に戻りません。



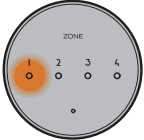
ご注意

- すべての設定を削除するため、ソフトウェアがダウングレードされることがあります。本機をお買い上げ時の設定に戻すには、リアパネルの電源スイッチをオフにします。それからリアパネルの RESET ボタンを押した状態で電源スイッチを入れ、ゾーン表示が橙色に点滅するまでボタンを長押ししてください。



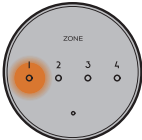


ステータス表示LEDについて

本機の状態により、フロントパネルのLEDが変化します。

本機の状態	フロントパネルLED表示	説明
ディープスタンバイモード	 <p>(消灯)</p>	電源オフ、またはディープスタンバイモードです。(P.45 ページ)
クイックスタートモード	 <p>(薄暗く点灯)</p>	クイックスタートモードです。(ネットワーク接続時)(P.45 ページ)
クイックスタートモード	 <p>(薄暗く点灯)</p>	クイックスタートモードです。(ネットワーク未接続時)(P.45 ページ)

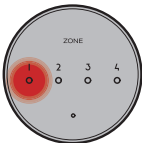





本機の状態	フロントパネル LED 表示	説明
電源オン	 <p>(点滅)</p>	起動中、およびネットワークに接続中です。
	 <p>(点灯)</p>	ネットワークに接続しました。
	 <p>(点灯)</p>	ネットワークに接続できません。ネットワークに接続し直してください。



本機の状態	フロントパネル LED 表示	説明
音量設定	 <p>(中速点滅)</p>	音量調節中です。
	 <p>(低速点滅)</p>	ミュート中です。
アップデート	 <p>(点滅)</p>	ファームウェアのアップデート中です。
	 <p>(低速点滅(暗くならない))</p>	ファームウェアのエラーです。お使いの環境を確認し、アプリを再起動したあとに再度ファームウェアのアップデートをおこなってください。



本機の状態	フロントパネル LED 表示	説明
エラー	 <p>(点灯)</p>	<p>セットアップエラーです。お使いの環境を確認し、正しい操作手順でセットアップし直してください。それでもエラー表示される場合は、お買い上げ時の設定に戻したあとにセットアップし直してください。(P.40 ページ)</p>
	 <p>(高速点滅)</p>	<p>ハードウェアのエラーです。電源コードを抜き、しばらく時間をおいてから電源コードを接続し直してください。</p>
リセット	 <p>(高速点滅)</p>	<p>お買い上げ時の設定に戻しています。</p>
パワーアンプモード	 <p>(3 回点滅)</p>	<p>パワーアンプモードで起動しました。</p>



電源管理

■ クイックスタートモード

本機は約 20 分間ネットワークへのアクセスがない場合や音楽を再生されない場合に、自動的にクイックスタートモードに切り替わり、消費電力を抑えます。クイックスタートモード中に本機の操作をすると、電源がオンになります。

クイックスタートモード中はゾーン表示は暗くなります。また、電源ボタンを押してもクイックスタートモードに切り替えることができます。

クイックスタートモード中、有線 LAN 接続は有効な状態です。

■ ディープスタンバイモード

電源ボタンを 6 秒以上長押しすると、“ディープスタンバイモード”に切り替わります。ディープスタンバイモード中はゾーン表示が消灯します。ディープスタンバイモード中に電源ボタンを押すと、ゾーン表示が点灯して電源がオンになります。

■ オフ

リアパネルの電源スイッチをオフにすると、電源が完全にオフになります。



対応ファイルの種類とコーデック

サンプリング周波数	ビット長	ファイル拡張子	コーデック	ビットレート
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/24bit	wav	PCM	-
32/44.1/48kHz	16bit	mp3	MPEG-1 Audio Layer 3 CBR/VBR	32 ~ 320kbps
32/44.1/48kHz	16bit	m4a aac	AAC-LC	48 ~ 320kbps
32/44.1/48kHz	16bit	wma	wma9 CBR	CBR:48 ~ 192kbps
44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/24bit	flac	flac	-
44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/24bit	m4a	ALAC	-
2.8/5.6MHz	1bit	dff dsf	DSDIFF DSF	-

ご注意

- USB メモリーについて、本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。
 - フォルダの階層数: 8 階層 (制限数にはルートフォルダを含みます。)
 - フォルダ数: 500
 - ファイル数: 5000 (USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。)
- Apple の Fairplay DRM などの DRM 保護されたファイルには対応していません。
- 高ビットレートまたはハイレゾ音源を選択すると、コーデックで適切なレベルに設定されて出力します。
- ALAC デコーダは Apache License Version 2.0 (<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。

対応する音声フォーマット(Optical)

2 チャンネルリニア PCM: 2 チャンネル、32kHz~192kHz、16/20/24bit
 ビットストリーム: Dolby Digital



登録商標について



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。



App Store®は、米国およびその他の国における登録商標です。



ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

ROON READY

Being Roon Ready means that Marantz uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.



主な仕様

■ オーディオ部

• パワーアンプ部

定格出力:

(通常時)

8 チャンネル

100W + 100W(負荷 8Ω、20Hz~20kHz T.H.D 0.05% LPF 20kHz)

125W + 125W(負荷 4Ω、1kHz T.H.D 0.05%)

(ブリッジモード時)

4 チャンネル

200W + 200W(負荷 4Ω、1kHz T.H.D 0.05%)

出力端子:

(通常時)

4~16Ω

(ブリッジモード時)

4~16Ω

S/N 比(IHF-A):

OPTICAL IN: 103dB

LINE IN: 100 dB

周波数特性:

20Hz~40kHz ±3dB

• アナログ部(LINE IN)

入力感度/インピーダンス:

200mV/20kΩ

最大許容入力:

2.5V

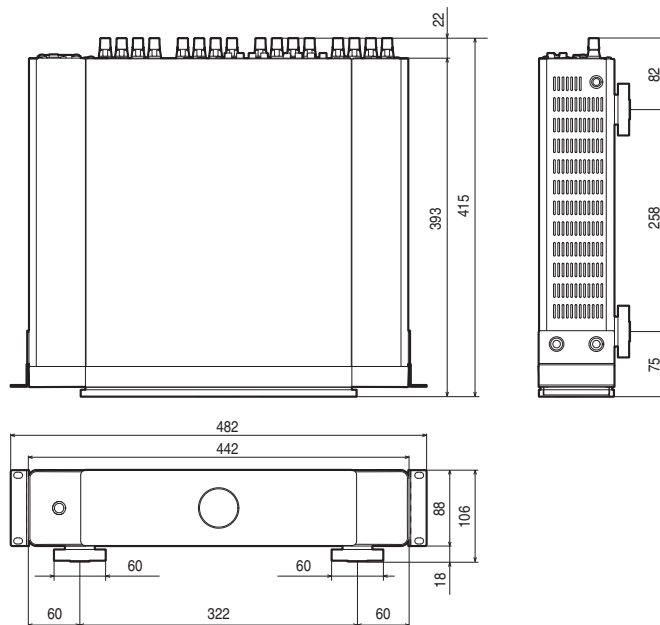


■ 総合

動作温度:	5℃～35℃
電源:	AC100～240 V、50/60Hz
消費電力:	265W
クイックスタートモード時の消費電力:	22 W
ディープスタンバイモード時の消費電力:	0.5 W



■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:

8.2kg(ラックマウントブラケット装着時)

8.0kg(ラックマウントブラケット未装着時)

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更する場合があります。



marantz

3520 10971 00ASB
©2024 Masimo. All Rights Reserved.